

前略

この度は私の八十八才にあたり、お祝い金をお送り頂き有難う御座います。確かに受領いたしました。

「東京鐵骨」にはわずかししか在籍しなかった私にまで、こうしてお心配りを頂き有難さ身にしみる思いです。

齢を重ねるとはこんなことかと思っておりますが、はや東京まででもヨウ行きません。杖をついて近所をブラブラ、あとは東骨時代に会社で教えていただいたパソコンをいじって楽しみ、日を送っている毎日です。

でも折角頂いたので、これを機会に新横浜のホテルでも「米寿」のお祝いをするか などと家内と二人で話しております。



末筆になりましたが、「日本ファブテック」の皆さま、鋼和会の皆さまに厚い御礼を申し上げます。又、馬齢を重ねたのみの私では御座いますが、かげながら「日本ファブテック株式会社」のますますの御発展をお祈りします。

早々

平成 30 年 11 月 9 日

藤井 郁夫

鋼和会会員一同 様